

BOOKUW ぶっくん

No. 129 〈小5・6年生用〉
2022(令和4)年10月
香芝市民図書館
香芝市藤山1-17-17
Tel. 0745-77-1600



開館30周年 読書週間を楽しもう♪

新しく入った本 『のぞく図鑑 穴』

宮田 珠己／編・著 小学館 <454>

穴があると、ついのでいてみたくなりませんか？

この世界に存在する様々な穴。この本には、身近にある五円玉の穴からブラックホールや鍾乳洞の神秘的な穴まで…世界にぽっかりあいた大小さまざまな穴が、200以上も登場。自然の穴・暮らす穴・食べものや日用品の穴・鉱山の穴・街をつくる穴などに分類して、のぞいた先の世界も紹介されています。写真も多数掲載され、小さいサイズながらよみごたえのある一冊です。

特集

図書館でドキドキ
本のせかい

『坂の上の図書館』

池田 ゆみる／作 さ・えら書房 <いけ 日本>

小学五年生の春菜は、住む家のない母親と子どもが、少しの間暮らすことができる施設に引っ越しをしてきました。となりにには市民図書館があり、生まれて初めて入った図書館で、絵本の読み聞かせを聞いた春菜は、その絵本を借りて帰って夢中で読みました。

人と関わるのが苦手で、勉強面も遅れていた春菜でしたが、読書の楽しみを知り、司書の丸山さん、担任の先生、友だちの佐久間さんたちと過ごす中で、大きく成長していきます。

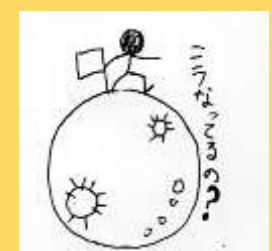
『ビッビ・ボッケンのふしぎ図書館』

ヨースタイン・ゴルデル／作、猪苗代 英徳／訳、NHK 出版 <ゴル 外国>

ニルスとベリットは、いどこ同士。夏休みが終わってはなればなれになった今、レターブックに たがいのことを書いて、文通しています。

ところが、この夏休みからふしぎなできごとが 2 人の周りで起こるようになります。それは、ある女の人が 2 人の前にたびたび姿を現すのです。その人の名前は、「ビッビ・ボッケン」。2 人はおたがいのまわりで起こった出来事から「ビッビのふしぎ図書館」があるということを発見します。それは、一体…。

わたしの30年後は？



どう
なってるの？

☆本のタイトルをクリックすると、本の表紙など 図書館ホームページで見ることができます！